

働き方改革

上田染谷丘高等学校 1年 増澤 里琥

NO. 8 働きがいも経済成長も

～NO.8とは～

すべての人のための継続的、
包摂的かつ持続可能な経済成長、
生産的な完全雇用およびダイナミック・ワーク
(働きがいのある人間らしい仕事)を推進することを
定めた目標。

8 働きがいも
経済成長も



・日本の現状・

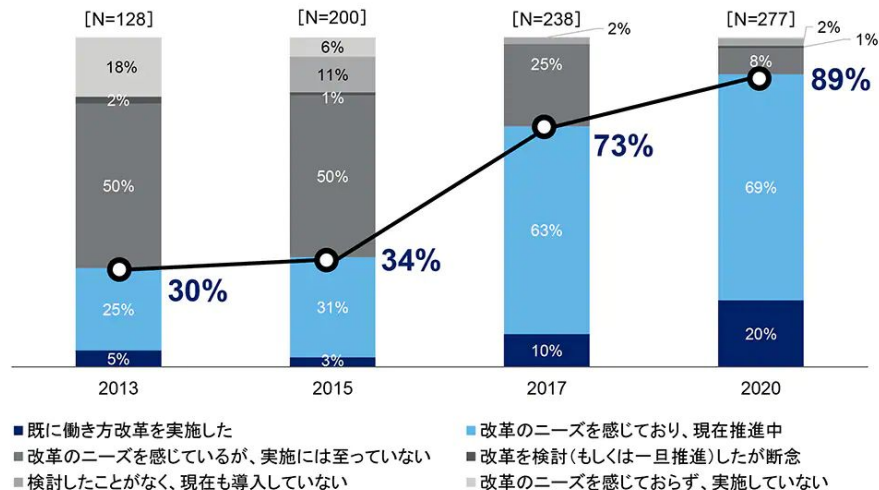
約9割が働き方改革の
恩恵を受けている。



働き方改革は着々と
進んでいる。

10%ほどは働き
方改革に取り組
めていない。

図1 働き方改革の取り組み状況



・課題・

- ・管理職の負担が増加する
- ・導入コストが膨大
- ・働くモチベーションが低下する
- ・生産性、業績が一時的に低下する
- ・就業規則を見直す必要がある。

・実際の増澤家・

母の帰宅時間

大体

20～21時

身近のところにダメな人がいました。

・自分の考え・

- ・想像してみると毎日親が5時に家に帰ってきてずっと見張られていると堪えるものがある。
なので、改革もしすぎると困っちゃうので大体やるのが一番いいんじゃないかと考えた。

・感想・

・普段家族の帰宅時間しかを知らないのに、全然働き方改革 進んでないじゃんとかおもっていた節があったが、意外と世間は進んでいるのだと理解した。

・もしかしたら母はブラック会社にお勤めをしているのかも 知れない。パンドラの箱です。